

花に地元グルメにと欲張りドライブ

ドケチ小五郎

コロナ禍、癒しを求めて散歩と花見にいそしんでおります。

散歩は二十歳を過ぎた社会人の娘二人を伴って。今までこんなことは考えられなかったため嬉しい誤算です。散歩はいずれ機会があればということでお花見がてらのドライブについて記してみました。

春の訪れは梅のつぼみが膨らみ始めると感じますね。そして桜。でもこれらは東京でも池上梅園やら皇居周辺、浜離宮恩賜庭園などいくらでも拝めます。

なので、今回はちょっと足を延ばしてドライブがてら私がよく行く花の名所をご紹介しますと思います。

春先、3月下旬から4月上旬は桃の花を求めて中央道を西へ山梨県笛吹市にある釈迦堂遺跡博物館(山梨県笛吹市一宮町千米寺764)の駐車場を目指します。中央道の釈迦堂パーキングエリアに停めて歩いて向かうこともできるようです。

この辺りは一面桜よりも色の濃い花を咲かせる桃の果樹園、果実を目的としない鑑賞用の花桃も咲き乱れてそれはもう桃源郷そのものです。

博物館近隣では農家の方が茶店を出し、しかも桃の木の周りに水仙やら菜の花やらを植えていたり、桃の花とのコントラストが実に見事で満開の時期にぶつかれば最高です。

果樹園を眺めながら緩やかな坂を上っていくと広い道路に出ますが、そこから見下ろすと遥か彼方、盆地の底にかけて桃の花が咲きみだれているのがわかります。つまり、博物館の周囲で少々見頃を過ぎていても上か下に行けば高低差、要するに温度差で何とか花見ができるという寸法です。ですがやはりネットで見頃を確認してからお出かけください。

ところで、皆さん山梨で桃などのフルーツを買い求める場合、どうしますか。ロードサイドに立ち並ぶフルーツ狩りのお店などでもお土産用を買い求めることができますが、地元の方に聞くとJA直売所で買い求めるそうです。私、以前は八百屋さんを探してさ迷っていました(笑)。

また、名物の一升瓶ワインや昔懐かしい切山椒などのお菓子もおすすめです。この切山椒、上新粉に山椒や砂糖などをまぶした素朴な和菓子ですが、以前は日本橋の榮太樓さんなどで当たり前を買えたのが東京。最近ではすっかり見なくなってしまいましたよね。

お昼は手打ちそば奥藤。何店舗もありますが国母店(甲州市国母7-5-12)でお蕎麦とB級ご当地グ



桃源郷

ルメのもつ煮などいかがですか。甘辛い味付けでとても美味しく量が多いためサイズは小が無難です。食べ過ぎて痛風になっても私は関知いたしません。

4月後半からは菖蒲とかアジサイですよ。

松戸の紫陽花寺との異名を持つ本土寺(松戸市平賀63)は近くて車で行きやすい名所です。菖蒲や桜などでも名を馳せています。五重塔もあり立派なお寺です。中庭は回遊式になっていて風情有ります。

足を延ばしてあけぼの山農業公園(柏市布施2005-2)のチューリップもおすすめです。

お昼は松戸とみ田のラーメンが有名ですが行ったことがありません。私はひさご亭(市川市大野南3-22-2)の餃子が大好き。げんこつ大の大きな餃子を揚げていて、餡が甘くてここでしか味わえない逸品です。これもB級グルメですね(笑)。

5月が近づいてくると足利フラワーパーク(栃木県足利市迫間町607)の大藤。見頃がとても難しいのですが何かしら藤の花は咲いています。ほかにもつつじ、ハンカチの木、などまさに百花繚乱! 圧巻の花々に度肝を抜かれます。冬のライトアップも綺麗ですよ。

近くにはつつじが岡公園(群馬県館林市花山町3278)やら足利学校(群馬県足利市昌平町2338)、佐野厄除け大師(栃木県佐野市金井上町2233)など見どころいっぱい、佐野プレミアムアウトレット(栃木県佐野市越名町2058)でお買い物も楽しいです。

おなががすいたら佐野ラーメンは絶対外せませんね。私は普通のしょうゆ味、これが都内ではあまり見かけませんが好きです。なので、宝来軒(栃木県足利市浅沼町801-2)のワンタンメンが一押し。目の前に繁盛店の暖簾分けのような大型店が出来たこともあり比較的他の店よりも空いているのが狙い目です。U字工事さんの色紙が何処の店にお邪魔してもあるような気がします。さすが地元への熱い思いが感じられます。



松戸アジサイ寺桜の季節



足利フラワーパーク大藤

他にも国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4）。ゴールデンウィーク頃のネモフィラや秋のコキアの紅葉など、皆さんTVなどでお馴染みですよ。土日に行くともめちゃめちゃ混んでいます。

お昼は那珂湊おさかな市場（茨城県ひたちなか市湊本町19-8）。新鮮な海の幸を提供してくれるお店が軒を連ねています。お土産屋さんも豊富ですが生モノなのでクーラーボックスなど持参したほうが無難でしょうか。

干し芋も名産で、とても美味しいです。

私はガールズ&パンツァーというアニメ（女子高生達が学校のクラブ活動で戦車道部に入部し、実際の戦車に乗り込み模擬戦を通して全国大会で頂点を目指すというスポコン・萌え・ミリタリーの3要素を備えたアニメで、設定として戦車道は茶道・華道などと並び乙女の嗜みとされているという江東区無形文化財も驚く荒唐無稽なストーリーでおじさんたちに人気がある）が好きで物語の舞台となる大洗町にも行きます。大洗磯前神社（茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6890）などは景観が素晴らしい神社です。町ぐるみでこのアニメを盛り上げているのを肌で感じます。

ちなみにこのアニメを知ったきっかけはブログ仲間の方がこれは音楽が良い。実に考え抜かれて海外の有名な歩兵師団の音楽が使われていたり演奏も素晴らしい！演奏を聴くと戦争映画の名シーンを連想させる、という言葉につられて観てみたら奇想天外ではまってしまいました。特にフィンランドの継続戦争をイメージした継続高校のSäkijärven polkka（サッキヤルベンポルカ）という曲が傑作で、是非YouTubeなどで探して聴いてみて欲しいものです。水島監督はどこでこんな名曲を見つけてきたのでしょうか。一時期我が家ではみな口ずさんでおりました。



ひたち海浜公園



茨城県大洗磯前神社の絵馬

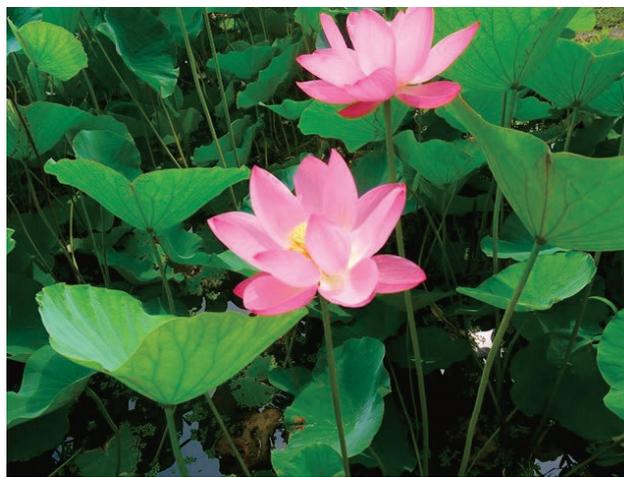


茨城大洗磯前神社

6月の終わり頃からは蓮が見頃を迎えます。上野不忍池の蓮を鰻の名店伊豆榮から眺めるのもいいですが、埼玉県行田市の古代蓮(埼玉県行田市大字小針2375番地1)は原始的な形態を持つ1400年～3000年前の蓮であると言われています。花の群れが数か所あり、満開の時期をずらして咲いているようなので見頃が長く楽しめます。難点は蓮の開花が早朝ですので早起きして出かけなくてはなりません。お隣では「田んぼアート」、つまり色の異なる数種類の作物を使い水田に絵柄を描いていて、こちらは園内にある有料のタワーに上ってみることが出来ます。蓮田市ではなく、行田市というのがややこしいです。

私は午前8時台に到着して見て回るため時間が早すぎて食事は摂りません。ゼリーフライが有名ですがうーん、他をあたってください。

さて、7月中旬にこれを認めておりますが夏はどこへ行きましょうか。ひまわりの迷路で汗まみれというのだけは絶対にお断りです。家で朝顔を愛でていようかしら(笑)。



行田古代蓮



行田古代蓮隣の水田